

14人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 藏原 博敏「古神地区周辺の悪臭の解決を」…P14
- 2 園田 浩文「市民に優しい路線バス運行経路の増設を」…P15
- 3 児玉 正孝「若者の働く場所確保と定住に向けた取り組みは」…P15
- 4 河崎 徳雄「子育て支援センターの充実を」…P16
- 5 五嶋 義行「シンプルな野焼きの実現と野尾幹線（天空の道）復活の方法は」…P16
- 6 竹原 祐一「保護者の実状に合わせた就労援助費の実現」…P17
- 7 甲斐純一郎「大規模な災害に備えて」…P17
- 8 立石 昭夫「市のインフラ整備について問う」…P18
- 9 田中 弘子「阿蘇市子育て支援センターの今後は」…P18
- 10 市原 正「阿蘇市に関する事故や事件等が発生した際の議会への報告説明は」…P19
- 11 大倉 幸也「夢の湯の再開はあるのか」…P19
- 12 佐藤 和宏「市民の方々の移動手段を確保するために」…P20
- 13 谷崎 利浩「夢の湯の再開時期は」…P20
- 14 森元 秀一「学校教育のさらなる国際化に向けた取り組みを」…P21

古神地区周辺の悪臭の解決を



藏原 博敏

藏原 畜産クラスター事業に伴う畜舎建設に対し移転運動が起った。議会でも審議を繰り返してきたが市としては建設場所の変更と事前説明に重大な瑕疵があったと言う事から補助金を凍結、事業者との間に訴訟が生じている。移転運動と悪臭問題の関連は。

佐伯農政課長 移転運動の前から日常的に悪臭に悩まされていると苦情はありました。今回の畜舎移転運動の引き金となった可能性はあると思います。

藏原 長年、悪臭に悩まされた方々が近くに畜舎が建つ事で臭いが拡大することへの不安、反発があったと思う。夏場は窓が開けられない、食事にも影響するとの声も多い。対策は。

農政課長 現在、20名を超える住民の方々にモニター調査を依頼し、精力的に発生源、発生日時等の調査を進めています。また、昨年導入した簡易測定器による調査を含め、通年のデータ収集が必要だと

思っています。

藏原 スピード感をもって対応してほしい。「畜産環境保全に関する条例」にもあるように生活環境と畜産の振興は共存を図るべきでは。

農政課長 地域と畜産関係者の間に溝が生じないよう条例を遵守していきます。国や県にも相談し、様々な軽減策を検討して参ります。

藏原 行政、議会の活動経過を区長会等を通じ住民の方々にも伝える必要があると思う。悪臭の解決、軽減を強く求めるが。

阿蘇市長 現在、調査中ですが異臭問題は人口減少にもつながりかねません。行政が積極的に取り組み、早期の解決を目指します。既に活動している最中でもあります。

他に「県道内牧坂梨線とバイパスの連結道について」の質問がありました。



牛舎移転を求める看板

市民に優しい路線バス運行経路の増設を



園田 浩文

園田 災害公営住宅新小里団地D棟も完成する。高齢者等の交通手段として既存の産交バスの運行経路に新小里団地経由を取り込めないか。また、地震発災後、JRの代替バスの昇降場所を内牧駅から国道57号沿いのコンビニ（乙姫区）としているが、駅から国道を結ぶ経路が必要では。

山口財政課長 新しい運行経路となりますので、しっかりと調査を行い、総延長が変わらない形で理想とする経路を見出したいと考えています。

「阿蘇路をめぐるフルマソンコース」の検討を

園田 「北側復旧ルート開通時の復興イベントは、日本中、世界中へ発信する。」と答弁されているが、市長の考えに変わりはないか。

佐藤市長 阿蘇の発展には北側復旧ルート開通は復興の象徴でもあると考えており、現在、副市長を中心に計画を練っているところです。

園田 復興イベントの案として一

過性のものではなく、今後、阿蘇市の定着したイベントとして「阿蘇路をめぐるフルマソン大会」の検討を。
荒木まちづくり課長 既に実業団等で設定されたコースはありますが、新たにフルマソンコースとなりますと安全性の確保や地域の方々の盛り上がりなどが必要とされ、今後、検討を進めて参ります。

国直轄砂防事業について

園田 平成30年度西湯浦地区を含め3事業発注されているが、残りの事業の把握は出来ているか。

中本建設課長 現在、国の方で砂防基本計画及び砂防施設配置計画案を策定中です



市民対抗駅伝

若者の働く場所確保と定住に向けた取り組みは



児玉 正孝

児玉 国道57号北側復旧ルートが開通となれば冬場の通行リスクの軽減や物流の効率化もあり、今が企業誘致のチャンスと考える。働く場がなければ、阿蘇市に若者が定住することが出来ないと思われるが、以前、旧永水小学校跡地に誘致したエム・テクニク株式会社後に積極的な誘致活動はなされているのか。

吉良経済部長 企業誘致について、誘致という観点では、企業側も輸送や人材確保等の諸事情があり、新たな立地は難しい状況もあるようです。よって、既存の誘致企業や関連する衛星企業等に対しまして操業継続に向けたお願いや取り組みを行っています。

各企業におかれましても、新卒者や中途採用等による雇用対策を積極的に展開されており、若者の定住化にも繋がっているのではないかと感じています。恒常的な対策として、企業に関わらず管内事業所等に対しまして、各種団体（商工会等）と連携した創業（起業）支援による経済

の活性化と働く場の確保、企業等の操業継続に向けた環境整備と連携強化の取り組みを図るため、熊本県企業誘致連絡協議会によるセミナーや講演会の案内、民間機関からの各種制度や企業支援の情報提供等を行っています。

児玉 若者の働く場所の確保と定住化を図るために、佐藤市長のトップセールスは。

佐藤市長 阿蘇市が企画力を持って、企業に対し、根強く説明などを行い、結果的に、将来に亘って市内で開業し、それが職場確保へと繋がるよう、しっかりと事業を進めて参ります。



誘致企業のエム・テクニク株式会社

子育て支援センターの充実を



河崎 徳雄

河崎 国も少子高齢化対策として、社会保障を重要課題と位置付け、子育て支援法も充実されるようだ。阿蘇市内には65歳以上の方々が約9,800名おられ、全体の37%を占め、出生率は約180名前後、未就学数は1,176名で僅か4%となっている。今後、親の子育て教育や支援が必要と感じている。子育て支援センターの目的と利用状況等の説明を。

宮崎市民部長 乳児期から入学前までお子様と親子交流の場を通じ情報交換し、子育ての悩みや疑問を共感し健やかな子育ての応援が最大の目的です。利用状況は、すくすく広場が3,636名、ぴよぴよ広場が8,805名です。活動は、育児相談、親子ふれあいの体験、読み聞かせなどがあり、重要な施設と位置付けております。

夢の湯の早期復旧について
河崎 夢の湯が休業閉館し、一年

になる。住民から早期再開の声が強くあるが、復旧の見通しは。

荒木まちづくり課長 市所有地が好ましいことから、売買に向け協議を進めてきました。今後はあらゆる方向を検討します。

河崎 所有者との交渉の難しさを感じるので、市長の英断が必要と思う。一日も早い決断を期待するが。

佐藤市長 行政として決断するところがくると思います。



一の宮子育て支援センター

シンプルな野焼きの実現と 狩尾幹線（天空の道）復活の方法は



五嶋 義行

五嶋 市は、シンプルな野焼き実現に向けて、これまで保安林解除の検討を行ってきたが、厳しいのであれば、保安林の樹種変更についての可能性は高いと思われるが、その場合の具体的な方法は。

佐伯農政課長 樹種変更手続は、県知事の権限になっています。基本、所有者が手続申請を行うものですが、詳細な書類の作成が必要になることから、関係牧野組合と市農政課で調整を図り、県との協議の場を設けるよう取り組んで参ります。

五嶋 保安林の問題を抱えている地域は多くあると思われる。車帰区については、以前から樹種変更の要望があつていたが。

農政課長 車帰区とは現在協議を進めており、選定樹種の耐火性や防火性についての検討や、支障となる保安林の一部を一定箇所樹種変更するなど実証実験に向けた協議を行っているところです。

狩尾幹線について

五嶋 狩尾幹線については、現在、復旧を見送っているような状況だが通行止めが長くなると、地域の作業などに大きく影響を及ぼすこともあり、早期復旧を強く要望する声も多々ある。当時、市と地域の関係者として現地を調査し、結果、建設課長が早期復旧は厳しいとの回答であったが、今後、本路線の復旧について市長はどのように考えているか。

佐藤市長 本路線は、地域の方々にとっても大事な路線であると認識しています。今後も諦めることなく、地元、市執行部、議会も交えた促進期成会などを設立するなどの検討を図って参ります。



北外輪山

保護者の実状に合わせた就学援助費の実現



竹原 祐一

竹原 市で入学準備金（新入学児童及び生徒学用品費）が入学前に支給されるように制度改正し、予算化されているが、具体的な実施要項は。

日田教育課長 31年度の予算で、小学校は1人40,600円で20名分、中学校では1人47,400円で30名分を今年度の予算の中で計上しています。要綱は現在、一部改正を行う予定で様式等の整備を行っています。

竹原 要綱の制定が早急に実施されると同時に、就学援助金制度の一部単価の引き上げが行われ、小学生50,600円、中学生57,400円となっているが、どう対処するのか。

教育課長 教育委員会できちんと支給するかを審議を行い、予算を計上することになりますので、次年度以降の対応となります。

竹原 申請書の提出は、学校又は教育委員会に、直接郵送できるようにできないか。

教育課長 申請書は一旦、学校で集約する必要がありますので、お子さんを通じて学校に提出されるか、若しくは郵送で直接学校に提出されるかは、保護者の方で選択していただくこととなります。

他に「子育て支援センターぴよぴよ広場直営運営継続を」、「高すぎる国民健康保険税の軽減の実施を」等の質問がありました。



阿蘇小学校入学式

大規模な災害に備えて



甲斐 純一郎

甲斐 これまでに多くの災害を受けて、四方に広がる外輪山の上部・中腹に亀裂が入っていると聞くが、改めて検証すべきでは。

村山総務課長 地震発生から、様々な機関の情報や市内10箇所所の亀裂部分に伸縮計が設置され観測しましたが大きな動きはなく、現在、調査を終えているような状況です。

甲斐 ひとたび致命的な亀裂を見落すことがあれば、甚大な被害に繋がる。地域の区長と協議や現地確認を。**建設課長** 地域の方々に対して、危険性を確認されますよう周知を図って参ります。

甲斐 東外輪山・北外輪山の山沿いにある集落内道路は、重要な生活道であり避難道でもある。市道の整備計画は。

中本建設課長 地元区長等と協議を踏まえ、地域にとって特に利便性が高い道路を優先し整備を行うことが望ましいと考えています。今後ともご理解ご協力を得られるよう計画を進めます。

力強い一次産業の活性化に向けて

甲斐 佐藤市長の施政方針の中で、「元氣な農業を構築する。」との発言があったが、詳細な説明を。

佐藤市長 本市の基幹産業は、農業と観光であります。今後とも営農環境の充実に向けた整備とともに、大型化する機械への対応として、営事業や新たな基盤整備地区計画等を推進して参ります。

甲斐 多面的機能支払交付金事業を活用した新たな農村整備を図るために市民と一丸となった元氣なまちづくりを。**佐伯農政課長** 本事業の今後の方向性につきましては、各組織が掲げる将来像が特に重要になると思われる。それに取り組む農家の方々や、住民の方々の意識の醸成が第一と考えています。市としましても、これまで以上の協力・支援を図って参ります。



多面的機能支払交付金を活用した水路整備